

ブラジル大統領の汚職隠ぺい疑惑と今後の注目点

2017年5月19日

お伝えしたいポイント

- ・ 大統領の汚職隠ぺい疑惑が報じられる
- ・ 市場は財政再建の先行きを懸念して下落
- ・ 財政再建の姿勢が維持されるかに注目

<大統領の汚職隠ぺい疑惑が報じられる>

現地紙は17日（現地時間、以下同様）夜、大手石油会社の汚職事件をめぐり、テメル大統領が、自身の汚職隠ぺいのため、クーニャ前下院議長宛の口止め料の支払いを承認していたと報じました。汚職事件への関与が疑われるブラジル食肉加工会社の会長が、司法取引に応じて最高裁判所に会話の録音テープを提出したことで明らかになったと報道されています。

大統領府の報道室はこの疑惑を強く否定する声明を発表し、「テメル大統領が、クーニャ前下院議長の発言を抑えるために口止め料の支払いを求めたことは断じてない。大統領はメディアで伝えられている疑惑の真相を広範かつ詳細に探る調査を妨げない。」とコメントしています。

<市場は財政再建の先行きを懸念して下落>

今回の報道を受けて、18日のブラジル金融市場は大きく下落しました。

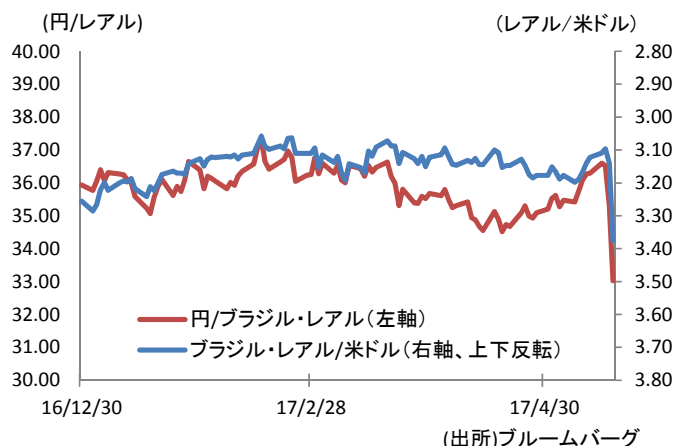
ブラジル・レアルは、対円で約6.5%下落、対米ドルで約7.5%下落しました。

株式市場の代表的な指数であるボベスパ株価指数は、約8.8%下落しました。

また債券市場では、10年国債の金利は、約1.76%ポイント上昇（価格は下落）しました。

為替市場の推移

(2016年12月30日～2017年5月18日)



当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

テメル大統領は、財政再建にとって最も重要とされる年金改革を主導しており、年金改革法案は5月下旬には下院本会議で審議・採決される予定となっています。

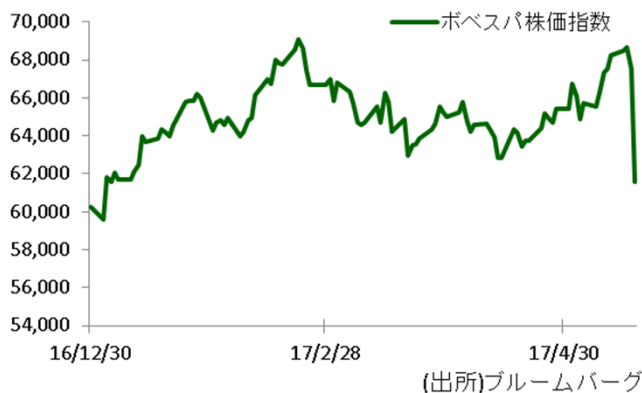
事前の報道では、同法案は賛成多数で可決される見込みとなっていたことで、足元のブラジルの金融市場は堅調に推移していました。

今回のテメル大統領の疑惑報道により、下院本会議における審議が進まない懸念や、採決が延期される可能性が浮上してきました。

最重要法案の先行きに暗雲を投げかけるニュースで、ブラジル金融市場は動揺し値動きが大きくなったと推察されます。

株式市場の推移

(2016年12月30日～2017年5月18日)



国債金利の推移

(2016年12月30日～2017年5月18日)



<財政再建の姿勢が維持されるかに注目>

ブラジルの年金給付は、歳出予算の4割超を占めており、年金給付の伸びを抑制するための年金改革法案は、財政再建の要となっています。同法案の成立には、上下両院において議員の5分の3の賛成（下院308議席、上院49議席）が条件となっています。下院で行なわれる年金改革法案の採決は、ブラジル政府の財政再建の意思が揺るがないものかどうかを確認する試金石として注目されます。

今回の疑惑報道により、一部の与野党の議員が大統領の弾劾を議会に請求するなどの動きはあるものの、現時点でテメル大統領の政権運営への影響は不確定な部分が多く、今後の進展を見守る必要があると考えています。当社といたしましては、状況に変化や進展がみられ次第、随時、情報提供を行って参ります。

以上

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

<ご参考> 当社の関連リサーチ

下記のリサーチでは、直近のブラジルに関するテーマやその背景などをお伝えしています。

マーケットレター

・ブラジルの政策金利引き下げと金融市場見通しについて(2017/4/13)

http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170414_3.html

・ブラジルが政策金利を0.75%ポイント引き下げ(2017/2/24)

http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170224_1.html

・ブラジルが政策金利を0.75%ポイント引き下げ(2017/1/12)

http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170112_1.html

動画

・ブラジルマクロ経済～構造改革と利下げで経済環境見通しが改善するブラジル経済～(2017/1/16)

<http://www.daiwa-am.co.jp/guide/movie/popup/mov13.html>

・ブラジル債券市場～良好な投資環境が続くブラジル債券投資～(2017/1/16)

<http://www.daiwa-am.co.jp/guide/movie/popup/mov14.html>

・ブラジル株式市場～新政権による改革～(2017/1/13)

<http://www.daiwa-am.co.jp/guide/movie/popup/mov11.html>

Weekly Report

・ブラジルの金融市場動向(毎週更新)

<http://www.daiwa-am.co.jp/market/weeklyreport.php?type=6>

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大1.24200%（但し、最低2,700円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の30%以上で、かつ30万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および運用管理費用（信託報酬）等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等：大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会